

鍛えられたチームワークを披露 仙北市消防訓練大会

7月3日、仙北市消防訓練大会が落合運動公園駐車場で行われ、市内の消防団10分団から、小型ポンプ操法の部に23チーム、規律訓練の部に7チームが出場しました。出場した団員の皆さんは日頃の訓練の成果を発揮し、息の合った動きをみせました。各部門の上位3チームは7月16日に大仙市で行われる大仙・仙北・美郷支部消防訓練大会に出場します。

- 主な成績は次のとおりです。
- 《小型ポンプ操法の部》
- 優勝 第4分団2班（神代地区）
 - 準優勝 第8分団2班（白岩地区）
 - 第3位 第4分団3班（神代地区）
- 《個人賞（小型ポンプ）》
- 指揮者 高橋 敦（第4分団2班）
 - 1番員 藤元 誠（第8分団2班）
 - 2番員 本田翔平（第10分団1班）
 - 3番員 黒澤武彦（第10分団1班）
- 《規律訓練の部》
- 優勝 第8分団（白岩地区）
 - 準優勝 第10分団（中川地区）
 - 第3位 第6分団（松木内地区）



（小型ポンプ操法）隊員が連携し、本番さながら1秒でも早い消火活動を競い合いました。



（規律訓練）機敏な動きで次々と隊列を変えているなど見事な団結力をみせました。

ドローンを活用して連携を図る 東光鉄工株式会社と仙北市が協定締結

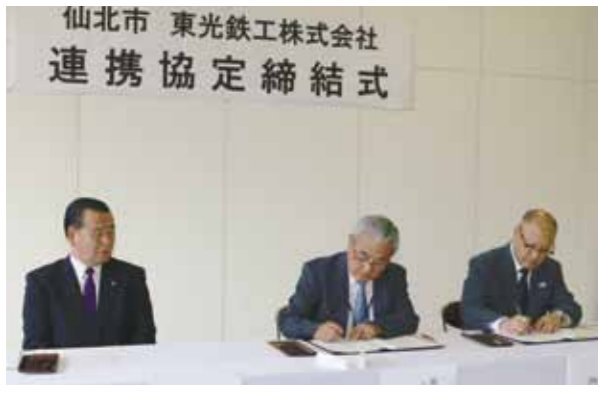
6月23日、鉄骨加工や小型無人機（ドローン）製造を手がける東光鉄工株式会社（大館市）と仙北市が、ドローン等近未来技術を活用するための連携協定を締結しました。

この協定は、近未来技術の発展・浸透を図るために連携し、産業振興や人材育成等を推進していくもので、主に農業や防災、

土木分野での取り組みを想定しています。

田沢湖庁舎で行われた締結式には、門脇光浩市長と虻川東雄会長、立会人の青柳宗五郎市議会議長が出席し、協定書に調印しました。

あいさつでは、門脇市長が「ドローンを使ったビジネスを世界に向けて発信していきたい」と今後の展望を、虻川会長は「特区に指定されている仙北市で、何かできないかと考えていた。実証試験等を通じて新たな製品を作っていきたい」と意気込みを、それぞれ述べました。



連携協定締結式で協定書に調印する門脇光浩市長と虻川東雄会長、立会人の青柳宗五郎市議会議長（右から順に）。



連携協定を締結後、3人は笑顔でがっちり握手。

廃棄物処理の広域化に関する基本合意書締結式

平成26年12月から大仙市・仙北市・美郷町・大仙美郷環境事業組合と大曲仙北広域市町村圏組合の間で検討を進めてきた廃棄物処理の広域化について、6月21日に基本合意書の締結式が行われました。



基本合意書を締結した松田知己美郷町長、栗林次美大仙市長、門脇光浩市長（左から）。

これは、技術系職員の減少や施設の老朽化、人口減少に伴う処理効率の低下など3市町に共通した課題を解決し、将来にわたり圏域住民にとって必要な廃棄物処理施設を安定的に維持運営するため、大仙美郷環境事業組合と仙北市の廃棄物処理施設の運営組織を、大曲仙北広域市町村圏組合に一本化するものです。広域化の期日は平成31年4月1日を目指しています。

今後は、平成29年4月に廃棄物処理広域化準備室を設置し、平成30年4月に廃棄物処理広域化基本構想の策定、平成30年9月に同協定の締結と、段階的に作業を進めていきます。

秋田県食生活改善推進協議会総会で 鈴木順子さんが功労表彰

6月22日に秋田県庁第2庁舎で開催された「平成28年度秋田県食生活改善推進協議会総会」で、仙北市食生活改善推進協議会の鈴木順子会長が、功労表彰を受賞しました。

鈴木会長は長年にわたり、食生活改善推進員として、地域の食育活動や減塩の啓発普及に積極的に取り組んできたことや組織づくりに尽力されたことが評価され、今回の受賞となりました。



秋田県食生活改善推進協議会より、功労個人協議会会長賞を受賞した仙北市食生活改善推進協議会の鈴木順子会長。

地域へ奉仕活動「住宅デー」

長年ボランティアを継続

6月19日、秋田建築労働組合角館支部による「第21回住宅デー」が開催されました。

この催しは、同支部の建築に携わる組合員の方々が、無料で住宅相談や恒例の包丁研ぎ等を行うものです。当日は、立町パークレットパークで住宅相談会を行う班と、神代こども園で小破修理を行う班とに分かれ、それぞれ奉仕活動を行いました。大石良助角館支部長は「今後



も支部員で協力しながら、地域のために役立つ活動を続けていきたい」と抱負を語りました。

神代こども園では、支部員が手際よくパネル板を取り付けたり、下駄箱の塗装やフェンスの張り替えをしたり、ボランティア活動に汗を流しました。

未来を思い描く「夢の教室」

自分の夢について考える

日本サッカー協会主催の「夢の教室」が6月21日、角館小学校で開催され、5年生児童23人が、元プロサッカー選手の佐藤悠介さんの授業を受けました。

佐藤さんは高校卒業後、名古屋グランパスエイトとプロ契約を交わし、子どもの頃からの夢を実現させました。前半は体育館でボールを使ったゲームを行い、後半は教室に移動し、自身の挫折から夢を叶えるまでの経



夢教室では、佐藤先生による夢を実現するための大切なことを、児童たちは興味深く聞いていました。

験を話しました。児童たちも、自分の夢を発表するなど、将来を考えるよい機会となりました。